

令和4年第1回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和4年1月25日(火)
午後1時31分から午後2時7分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 安河内 由 香

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金 子 等	社会教育課長	奥 富 悟
学校教育部長	伊 藤 秀 一	次長兼教育指導課長	田 中 義 久
教育センター所長	稲 葉 正	書 記	神 田 崇 広

会議の公開・非公開 公開

傍聴者数 0名

報告事項

- ・第68回狭山市成人式の結果について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

1月9日(日)に、市民会館大ホールにおいて3部に分け開催した。全体の出席者は1,011人であり、出席率は69.77%であった。また、動画配信サービスによるライブ配信を行った旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、「広報さやま」で、式典の名称を「成人式」から新たな名称に変更するためのアンケートを実施しているが、その結果をどのように活用するののかとの質疑に、4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられるが、成人式は、対象年齢を20歳とし、これまでと同様の式典を開催する予定である。今回のアンケートは、その式典の名称をどうするかということで実施したものであり、全国的に採用されている名称をいくつか挙げアンケートへの回答を募集しているところである。今後、社会教育委員会議にも諮った上で、教育委員会協議会で意見をいただく予定である。例年、5月か6月には日程の周知を行っているので、それまでには決定する予定である旨の答弁がなされた。

- ・第44回狭山市人権教育実践研究会について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

例年、小中学校、公民館における人権教育の実践・事例発表の場として開催してきたものであるが、コロナ禍の影響により、昨年度は書面での取りまとめとなり、今年度も会場での開催を見送る予定である。代替策については、現在検討中である旨の報告がなされた。

- ・市指定文化財堀兼神社隨身門の修理工事について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

今回の修理工事は、以前実施した劣化状況調査により、雨漏りや構造の脆弱性が指摘されており、早急な修理が必要となっていたことから実施したものである。屋根の銅板を吹き直すとともに、通例の銅板葺きでは設置されない隅棟と降り棟を撤去し、併せて内部構造の強化と土間のモルタル破損部の一部補修を行った旨の報告がなされた。

- ・令和3年度転入教職員と教育委員との懇談会について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

昨年12月17日（金）に、24名の教職員が出席し、教育センター大研修室で行われた。今回は2グループに分かれ、全体に占める個人が話す時間を減らし、少ない人数で委員との懇談を中心に行った。児童生徒の良さや職場環境について、また、本市の特徴である大型テレビやタブレット等の教育環境の有効活用について、また土曜授業に関する感想があった。いずれにしても、本市に慣れ、それぞれが持っている指導力等を発揮して、各学校の貴重な戦力として勤務している様子が分かり、引き続き、本市での活躍を期待する旨の報告がなされた。

委員からは、他市の状況も分かり良い機会であった。課題も見受けられたので、今後には活かしてほしいとの意見がなされた。

- ・令和3年度第1・2回実用英語技能検定結果（中学3年生）について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

第1回の1次試験は、5月28日（金）に2校で実施し309名が受験した。第2回の1次試験は、10月1日（金）に4校、10月8日（金）に2校で実施し788名が受験した旨の説明があり、各級の受験者数及び合格状況の報告がなされた。

委員からの質疑等では、学校によって差はあるのかとの質疑に、大きな差は確認していない旨の答弁がなされた。委員からは、狭山市では英語教育にも力を入れているので、こうした取り組みは是非進めてほしい旨の意見がなされた。

・令和3年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

4月から12月までの相談実件数は、中学校248件、小学校133件であり、昨年度の同時期と比べ、中学校では138件、小学校で13件増えている。主に、不登校、友人関係、家庭環境、心身の健康・保健、学業・進路の項目が増えている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、相談件数が増えているが、十分な対応はできているのかとの質疑に、できる範囲での対応は行っている旨の答弁がなされた。

不登校の児童生徒に対して、1人1台のタブレット端末を利用した授業を行う考えは、との質疑に、タブレット端末については、現在、主に学校で使用しているが、学校に来られない児童生徒に対しては、既に個々に対応している。また、市内で効果的なオンライン授業ができるよう準備を進めている旨の答弁がなされた。

昨年度から大きく増えている相談の具体的内容は、との質疑に、家庭環境については、経済的な問題も含め、また、心身の健康については、登校時の体調不良を含め様々な内容である旨の答弁がなされた。

相談件数は極端に増えているのは、コロナ禍の影響もあるのかとの質疑に、一斉休校をきっかけに登校しづらくなった児童生徒もあり、多少なりとも影響がある旨の答弁がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係3件、教育指導課関係2件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

・その他

報告者（生涯学習部長）

（要旨）

第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤースタート）で優勝したHonda陸上部が1月26日（水）に、令和3年度第75回全日本総合バドミントン選手権大会の混合ダブルスで優勝した緑川大輝選手（市内小学校卒業、市内在住）が1月27日（木）に市役所を表敬訪問する旨の報告がなされた。

報告者（教育センター所長）

（要旨）

2月5日（土）に予定していた令和3年度狭山市立小中学生英語フェスティバルについて、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止とした旨の報告がなされた。

報告者（教育指導課長）

（要旨）

例年2月の第二土曜日、議場を会場に開催している「いじめ防止サミット」について、今年は2月12日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、議場での開催を止め、別の形での実施を検討している旨の報告がなされた。

以 上